



こどもクリニックニュース

NO. 159 平成25年4月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成25年5月まで)

4月	15日	(月)	3才健診	騎西・保健センター
	10日	(水)	2才健診	加須・保健センター
	17日	(水)	1才半健診	加須・保健センター
5月	8日	(水)	内科健診	水深小
	23日	(木)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター
	29日	(水)	9ヶ月健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

平成25年度から、騎西地区の乳幼児健診にも加わることとなりました。

休診の予定

4月27日(土)は休診といたします。

水曜日は一日休診です。



小児科休日診療の予定

加須市では、11月から翌年3月まで、元日を除く日曜・祝日に小児科休日診療が実施されました。4月から10月までは祝日のみの診療となります。5月までの当番は以下のとおりです。

月	日	曜日	当番医
4月	29日	(月)	福島小児科医院
5月	3日	(金)	加藤こどもC
	4日	(日)	-
	5日	(木)	ともながこどもC
	6日	(月)	加藤こどもC

診療(受付)は9:00~12:00です。

医療機関の都合により当番が変更される場合があります。ご利用の際は、加須市の広報誌やホームページなどで、最新情報をご確認ください。

スギとヒノキによる花粉症

3月に入って暖かい日が続くようになり、スギの花粉が大量に飛び始めました。そのため3月前半は花粉症で来院される方が急速に増えてきましたが、3月下旬になると軽くなってきた方も多そうです。でもこれから4月いっぱい、ヒノキの花粉が飛散します。まだまだ油断しないようにしてください。

ヒノキの花粉の飛散パターンはスギ花粉とほぼ同じです。マスクや眼鏡、家庭での花粉対策など、同じように続けなければそれほど悪化することはないでしょう。

関東平野のスギとヒノキの花粉の飛散は、5月の大型連休が終わるころにはほぼ終わります。天候にも左右されますが、あと1ヶ月くらいの辛抱です。

感染症の情報

3月下旬にB型インフルエンザが一部の地域で流行しましたが、春休みに入ったので遠からず収まるでしょう。一時増えていた胃腸炎の患者さんも、少なくなってきたように感じられます。

その他、少ないながらも溶連菌感染症や水痘、おたふくかぜの患者さんが見かけられます。水痘やおたふくかぜはワクチンで予防できますので、是非ご検討ください。これらのワクチンは「2回接種」をお勧めしています。

手洗いは、すべての感染症の予防にとっても有効です。



予防接種のルールが一部変更

BCG ワクチン・・・接種できる月齢が伸びます

BCG ワクチン接種は、原則として生後6ヶ月未満となっていたのですが、4月からは生後1才(12ヶ月)未満まで延長されました。「おすすめの接種時期は生後5～7ヶ月頃」となります。ヒブや小児用肺炎球菌、四種混合ワクチンの接種を済ませたあとに計画すればよいでしょう。

3月末までにBCGワクチンを受け損なった方も、4月以降でなおかつ1才未満であれば、接種できるそうです。

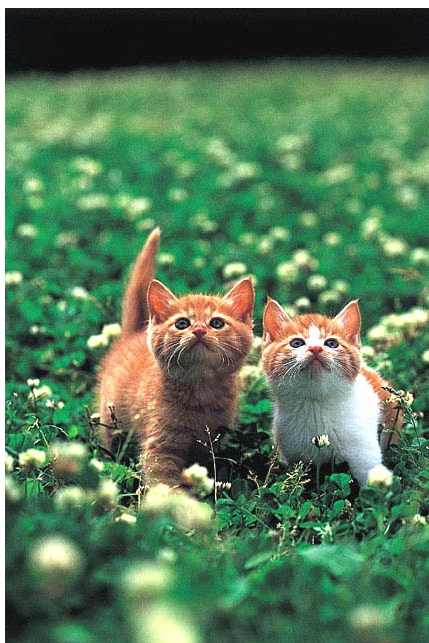
ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン 定期接種化が確定

4月から正式に「定期接種」となりました。埼玉県の予防接種相互乗り入れ制度に仲間入りしましたので、市町村の領域を越えて、かかりつけ医療機関での接種が可能になりました。規則の変更が年度末ギリギリになったため、ほとんどの市町村が準備に追われたことと思います。

加須市の予診票(問診票)の交付は以下の通りです。3ワクチンを1回も接種していない方は、加須市から予診票を交付。すでに1回でも接種を始めた方は、医療機関から交付。

いずれ将来は、他のワクチンの予診票と一緒に、一括して交付されようになるものと推測します。

加須市以外の方は、お住まいの地域の保健センターにお尋ねください。



四種混合ワクチンの現状

接種が始まってから5カ月が経過しましたが、この1ヶ月くらいの当院の四種混合ワクチン事情をお知らせします。

相変わらず製造メーカーや問屋さん側が供給量を決めていて、当方の希望はまったく無視という状態が続いています。ただし、結果的にはほとんどの方が「ご希望通りのスケジュール」で接種できていると感じています。おそらくワクチンの供給量が少しずつ増えていることと、接種対象となるお子様の人数も安定してきて、需要と供給のバランスが安定してきたのだと思います。

当院では今まで、四種混合ワクチンは「予約申し込み後、確保できた時点で接種日の相談」をしていましたが、4月からは他のワクチンと同様に、1～2ヶ月先までの予定を組むこととしました。万が一特別な状況の変化が起こった場合は、改めてご相談いたします。

<4種混合ワクチン> 初の死亡例・・・

3月11日付の毎日新聞に、このようなタイトルで、生後6ヶ月未満の赤ちゃんが亡くなったという報道がありました。まるで、四種混合ワクチンが原因で亡くなったようなタイトルであり、そのためにワクチン接種に対して大きな不安を持たれた方もいらっしゃるようです。

記事を読んでもみると、亡くなった赤ちゃんの身体の状況や亡くなりたいきさつなどは全く書いてありません。(個人情報保護のためなのか詳細な情報がないのかは不明です)。我々が軽々しく「大丈夫です」ということはできませんが、一番事情を知っている厚生労働省からは「接種を見合わせ」といった指示はありません。今は接種を継続しながら、専門家による検討結果を待ちたいと思います。

それにしても、書いてある内容を冷静に読めば、四種混合ワクチンが「赤ちゃんが亡くなった原因」とは言えるはずもなく、この記事の表題は明らかに不適切だと考えます。この記事を書いた記者の方が、どのような情報や知識(あえて言えば常識)をお持ちなのか、大きな疑問が残ります。

こどもクリニックニュースの 無料郵送サービスをしています!

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150